

平成 20 年度地球シミュレータ共同プロジェクト 課題選定に係る評価の方針について

<< 注意事項 >>

○地球シミュレータ共同プロジェクトは平成 20 年 9 月末日で原則終了とさせていただきます。

◇継続プロジェクトにつきましては、9 月末日までに終結するようご提案ください。

◇平成 21 年度以降の運営方針につきましては、今後改めて当機構において検討します。

平成 20 年度共同プロジェクトの課題選定については、地球シミュレータ課題選定委員会において課題選定評価を行ない、その評価結果に基づき、海洋研究開発機構が適正な資源配分を行なう。

1. 課題選定評価の観点

- (1) 地球シミュレータを用いることにより画期的な成果が期待できる課題を重点的に選定する。
- (2) 「地球シミュレータ運営基本計画」（参考 2 参照）に沿って、第一義的に、人類の持続的発展に貢献できる地球変動研究分野の推進に資する課題を選定する。また、その他の分野においても、前項の条件を満たす課題を選定する。
- (3) 国民・社会生活に大きく貢献する、あるいは、基礎科学研究で画期的な成果が期待される課題を重点的に選定する。
- (4) 評価は申請書類を対象に行なうが、継続課題に関しては、過去における成果及び地球シミュレータの利用状況並びに利用報告会での評価結果等を総合的に勘案して評価するものとする。

2. 課題選定評価によるランク付け

課題選定評価にあたっては、次の指標に基づいてランク付けを行う。

ランク(意味)	評価指標
S：優先採択	基本審査項目に照らし、特に優れた提案であり、積極的に推進すべき課題
A：採択	基本審査項目に照らし、優れた提案であり、推進すべき課題
F：不採択	絶対評価項目を満たさない課題、相対評価項目への適合性が著しく低い課題

また、S 及び A ランク評価の各課題の要求計算資源量について、研究計画に照らし合わせ、その妥当性の評価を行なう。評価の指標は以下のとおり。

	評価指標
要調整	研究計画を勘案し、要求資源量が多いと考えられる課題
妥当	研究計画を勘案し、要求資源が妥当だと考えられる課題
その他	その他、コメントを付すべき課題

3. 課題選定評価に当たっての基本審査項目

課題選定評価に当たっては、以下の項目により審査する。

(1) 絶対評価項目

- 1) 平和目的の利用であること。
- 2) 地球シミュレータ計画推進委員会で審議された運用方針に適合していること。

(2) 相対評価項目

1) 研究テーマの内容

- ・地球シミュレータを利用することによってのみ成果を生み出せること。
- ・その成果は社会に還元されること。
- ・競争的ないしは競合的な課題に対しては、その課題の解明に対して連携がとれた提案であること。

2) 技術的事項

- ・地球シミュレータを必要とする程の大規模シミュレーションであること。
- ・地球シミュレータの性能を活かせるようなベクトル・並列プログラムを利用していること。
- ・プログラムのベクトル化、並列化チューニング計画に具体性かつ妥当性があること。

3) 利用報告での評価結果

- ・利用報告会での評価結果に対応していること。

4. 評価結果に基づく資源配分

課題選定委員会の課題評価に基づき、全体の配分可能資源量を考慮しつつ、課題選定委員会の委員長と相談した上で、海洋研究開発機構が個別課題の資源配分を決定する。

以 上

＜参考 2＞

地球シミュレータ運営基本計画

独立行政法人海洋研究開発機構

本計画は、“海洋研究開発機構”が「地球シミュレータの運用等に係わる業務を実施するために必要な基本方針について定めることを目的とする。

1. 「地球シミュレータ」の特色と役割

「地球シミュレータ」は、ベクトル型演算方式を基本ノードとした高度な並列アーキテクチャを採用しており、その主記憶容量と演算処理速度において運用開始時点(平成 14 年 3 月)で世界最大の規模と能力を持つ設備である。

この優れた特色を活かし、地球大気・海洋の変動及び地球内部の変動を定量的に評価・予測し、自然災害からの人類の生命・財産の保全及び気候変動に対する的確な環境・資源管理と適切な経済活動の支援に寄与し、人と自然の共生とそれによる人類の持続的発展に貢献することが「地球シミュレータ」の第一義の役割である。また、「地球シミュレータ」は、これを活用することにより画期的な成果を上げることが期待できる分野に貢献する役割を持つものとする。さらに、迅速且つ的確な地球変動の評価・予測の活動には、物理モデルの開発・改良と同時に、「地球シミュレータ」のハードウェアの特色を最大限活かす高度なベクトル化並びに並列化ソフトウェアの開発を推進する役割が課せられる。

2. 「地球シミュレータ」運営の基本理念

「地球シミュレータ」運営にあたっての基本理念は、人間の生活にとって必要不可欠な問題である地球環境の変化の迅速且つ的確な評価・予測とそれらの科学技術の成果の社会への還元である。

その理念の達成には以下に基づく運営が必要である。

1. 利用体制が開かれている。
2. 成果の速やかな公開を原則とする。
3. 成果及び運用に関する評価を行う。
4. 利用は平和目的とする。

3. 「地球シミュレータ」運営の基本方針

1. 利用計画の策定

関連機関の研究者及び内外の有識者等からなる「利用計画委員会(仮称)」を“海洋研究開発機構”に設置し、利用計画の策定を行う。

2. 課題の選定

「課題選定委員会」を“海洋研究開発機構”に設置し、策定された「利用計画」に沿って研究課題を審議し、課題を選定する。

3. 評価の実施

研究成果及び運営組織・体制に関する外部評価システムを海洋科学技術センターに設置し、評価を実施する。

4. その他

地球シミュレータ運用における具体的事項については、本運営基本計画に則り、“海洋研究開発機構”が決定する。

平成 14 年 3 月 28 日 理事会決定

平成 16 年 1 月 21 日 地球シミュレータ運営委員会 改定

平成 19 年 1 月 30 日 改定